

科目区分	研究科目		
授業科目名	小児外科学		
担当者名	水野 大	配当年次	2, 3年次
単位数	15単位(選択)	実施場所	カンファレンスルーム
授業形態	講義, 実習		
開講曜日・時間	科目履修登録終了後に受講者へメールで連絡します		
授業の概要・到達目標 授業の目的: 研究を進めるうえで必要となる, 実験や学会等での発表, 論文作成にかかる技術的知識や技能について学ぶことを目的とする。 授業の到達目標: 作成した論文を学術論文誌に公表後, 学位審査を経て, 学位取得を目標とする。 授業の概要: 当科で行ってきた下記に記載の研究テーマにおける解説と討議を通して, 実験や臨床研究の進め方や研究方法の問題点を学習する。 1. 先天性横隔膜ヘルニアに対する胎児治療に関する実験的研究 2. ヤツメウナギの胆道系におけるアポトーシス発現からみた胆管発生と胆汁排泄機構に関する研究 3. Fecoflowmetryによる各種疾患における排便機能障害の評価に関する臨床研究 4. 膵管・胆道合流異常環境課下での胆道発がん機序 5. ω3系脂肪酸による肝内胆汁うっ滞の治療に関する実験的研究および臨床研究			
問い合わせ先(氏名, メールアドレス等) 水野 大(mmizuno@gipc.akita-u.ac.jp), 森井真也子(mayako@gipc.akita-u.ac.jp)			
その他特記事項 履修に関する情報: 社会人大学院生など, 勤務等で実習に出席できない場合には日程の調整に応じます。 教科書・参考文献: 必要に応じて資料を配付する。または, 文献を指定する。 自学自習時間における学習内容: 到達目標や授業内容に応じた準備学習を行うことが望ましい。			

科目区分	研究科目		
授業科目名	整形外科学		
担当者名	宮腰 尚久	配当年次	2, 3年次
単位数	15単位(選択)	実施場所	カンファレンス室, 実験室
授業形態	実験, 実習		
開講曜日・時間	科目履修登録終了後に受講者へメールで連絡します		
授業の概要・到達目標 授業の目的: 研究を進めるうえで必要となる, 実験や学会等での発表, 論文作成にかかる技術的知識や技能について学ぶことを目的とする。 授業の到達目標: 作成した論文を学術論文誌に公表後, 学位審査を経て, 学位取得を目標とする。 授業の概要: 整形外科学で扱う運動器疾患全般(四肢と脊椎の疾患)の病態と治療法について, より深い見識と理解を得ることができるようにする。特に, 当講座でこれまで継続して行ってきた以下の研究テーマに関する指導や実習を行う。 1. 各種の代謝性骨疾患の病態解明と新たな治療法の開発 2. 各種の骨軟部腫瘍の病態解明と新たな治療法の開発 3. 整形外科領域に使用する生体材料の応用 4. 運動器疾患の病態解明のためのバイオメカニカルシミュレーション 5. 麻痺に対する機能的電気刺激を用いたリハビリテーション 6. リハビリテーションにおける医療用ロボットの運用			
問い合わせ先(氏名, メールアドレス等) 整形外科医局, seikei@doc.med.akita-u.ac.jp			
その他特記事項 履修に関する情報: 社会人大学院生など, 勤務等で実習に出席できない場合には日程の調整に応じます。 教科書・参考文献: 必要に応じて資料を配付する。または, 文献を指定する。 自学自習時間における学習内容: 到達目標や授業内容に応じた準備学習を行うことが望ましい。			